

魚津市空間デザイン指針

令和4年3月

魚津市



目 次

序 章 はじめに	1
----------	---

第 1 章 空間デザイン指針の概要	2
-------------------	---

1-1. 空間デザイン指針の目的	2
1-2. 空間デザイン指針の位置付け	2
1-3. 対象範囲	3
1-4. 空間デザイン指針の構成	4

第 2 章 空間デザインの基本方針	5
-------------------	---

2-1. 現況の特性	5
2-2. 上位・関連計画の整理	7
2-3. 空間デザインのテーマ	13
2-4. 空間デザインの基本方針	14
2-5. 空間を構成するエリア	15

第 3 章 空間デザイン指針	16
----------------	----

3-1. 空間を構成するエリアの概要	16
3-2. 賑わい交流空間エリアの指針	19
3-3. 歴史ふれあい空間エリアの指針	23
3-4. 憩い回遊空間エリアの指針	26
3-5. 生活空間エリアの指針	28

序 章

はじめに

魚津市は富山県の東部に位置し、古くから県東部の中心都市として発展してきており、平成の時代となっても、魚津市の玄関口となる魚津駅・新魚津駅、電鉄魚津駅周辺を中心とし、下表に示す計画に基づきながら、魚津市のまちづくりを推進してきました。

しかしながら近年では、市街地を中心に空き家が増加し、都市のスポンジ化と郊外開発によるスプロール化が進行し、まちなかの魅力が低下して商業等の衰退が見られます。

これらの問題を解決するために、都市再生とコンパクトシティ・プラス・ネットワークの考え方を基にした持続可能なまちづくりを目的として、「立地適正化計画」を策定、活力あるまちづくりを実現させるために「魚津駅・新魚津駅周辺まちづくり基本構想」を策定しました。

これらに取り組むにあたり、デザインの統一性や長期にわたるデザインの一貫性を図りながら市街地におけるまちづくりを推進していきます。

これまでのまちづくり関連計画の策定経過について

策定日	駅周辺の計画	主な内容
平成5年3月	魚津市都市景観形成ガイドプラン	まちづくりの方向や空間イメージのガイドプラン
平成8年3月	魚津市都市環境計画	環境共生型の都市づくり
平成11年3月	魚津市中心市街地活性化基本計画	ハード、ソフトの組合せによる集客力のある市街地
平成14年3月	魚津駅地区景観整備調査	環境の整備方針やイメージ
平成14年9月	魚津市バリアフリー基本構想	駅周辺のバリアフリー
平成16年4月	魚津中央地区都市再生整備計画	駅前地区が快適な都市環境となるよう景観整備
平成23年3月	魚津市地域公共交通総合連携計画	持続可能な交通体系の構築
平成23年3月	J R魚津駅・新魚津駅及び電鉄魚津駅整備基本構想	新魚津駅舎移設と電鉄魚津駅整備の基本構想
平成26年3月	J R魚津駅・新魚津駅周辺整備基本構想	新魚津駅舎移設に伴う周辺整備の基本構想
平成28年10月	魚津市地域公共交通網形成計画	持続可能な交通体系の構築
平成29年8月	魚津市都市計画マスタープラン	都市計画の総合的な指針
令和2年3月	魚津駅・新魚津駅周辺まちづくり基本構想	駅前周辺の賑わいづくりのための整備方針
令和2年3月	魚津市立地適正化計画	持続可能なまちづくりのための方針
令和3年4月	魚津市中心市街地地区都市再生整備計画	中心市街地地区の賑わいづくり整備

第1章

空間デザイン指針の概要

1-1. 空間デザイン指針の目的

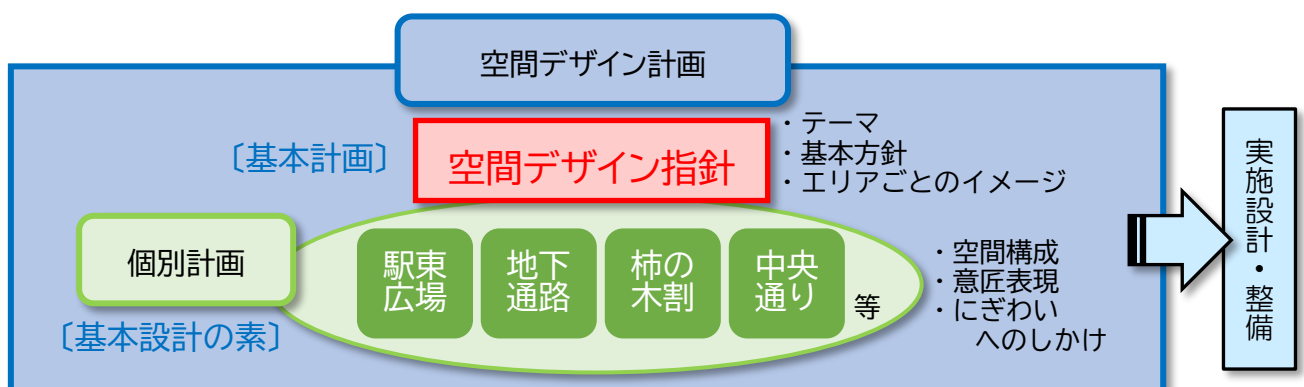
空間デザインの必要性

魚津市では中心市街地における魅力的な都市空間の創出などに向けた取り組みを推進していますが、都市空間については、行政が整備・維持管理を行う道路・公園・河川等の公共空間と市民や事業者が建築物等を建築する民有地から構成されていることから、良好な都市空間を創出するためには、市民・事業者・行政が連携してまちづくりを進めていくことが重要です。

空間デザイン指針の目的

本指針は、魚津市が策定した「魚津市立地適正化計画」、「魚津駅・新魚津駅周辺まちづくり基本構想」などを踏まえ、コンパクトシティ・プラス・ネットワークを基本とした持続可能なまちづくりの実現や、中心市街地における賑わいのある魅力的なまちづくりを実現するため、具体的な整備イメージをもって都市空間デザインの統一を図るため、都市空間デザインの基本的な考え方と進め方を示すものです。

1-2. 空間デザイン指針の位置付け



賑わいのある魅力的なまちづくりを実現するために、【空間デザイン計画】を基本として、都市空間デザインの統一を図りながら進めます。

この【空間デザイン計画】は、基本的なデザイン方針を示した「空間デザイン指針」と各都市施設の整備方針を示した「個別計画」を合わせたものです。

実施設計やまちづくり整備を進める際には、この計画に基づいて行います。

1－3. 対象範囲

空間デザイン指針の対象範囲は、立地適正化計画における居住誘導区域内を基本とします。

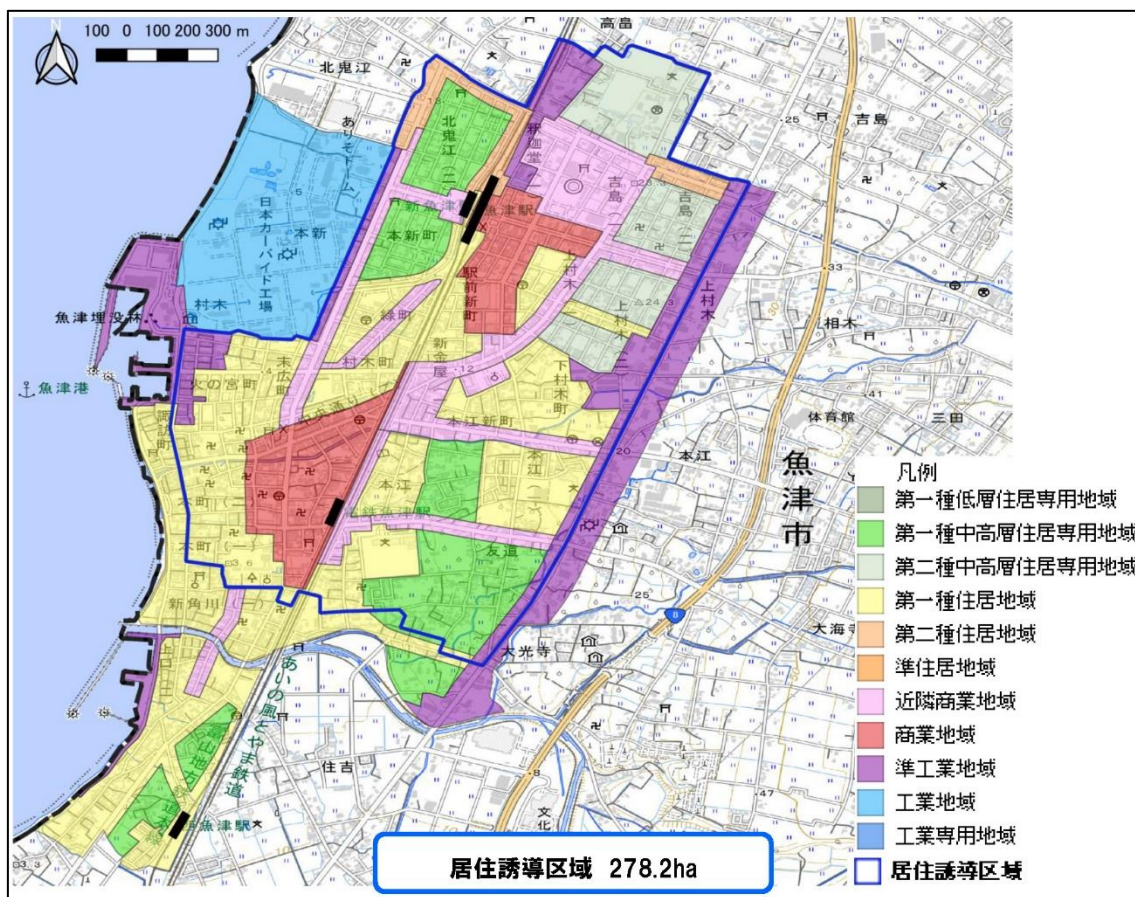


図 居住誘導区域（魚津市立地適正化計画）

1-4. 空間デザイン指針の構成

空間デザイン指針の構成は、以下の通りです。

第1章 空間デザイン指針の概要

- 1-1. 空間デザイン指針の目的
- 1-2. 対象範囲
- 1-3. 空間デザイン指針の構成

❖ 本指針の目的、対象とする範囲、構成を示しています。

第2章 空間デザインの基本方針

- 2-1. 現況の特性
- 2-2. 上位・関連計画の整理
- 2-3. 空間デザインのテーマ
- 2-4. 空間デザインの基本方針
- 2-5. 空間を構成するエリア

- ❖ 対象範囲における現況の特性や上位・関連計画の概要を整理し、対象範囲における空間デザインのテーマや基本方針を示しています。
- ❖ 現況の特性などから、対象範囲のエリア区分を示しています。

第3章 空間デザイン指針

- 3-1. 空間を構成するエリアの概要
- 3-2. 賑わい交流空間エリアの指針
- 3-3. 歴史ふれあい空間エリアの指針
- 3-4. 憩い回遊空間エリアの指針
- 3-5. 生活空間エリアの指針

❖ 区分されたエリアごとの空間デザイン指針（コンセプト、空間の考え方）を示しています。

第2章

空間デザインの基本方針

2-1. 現況の特性

空間デザイン指針を設定する上で、対象範囲内の地域資源を整理します。

1. 主な都市施設・街並み

交通施設	あいの風とやま鉄道（魚津駅）、 富山地方鉄道（新魚津駅、電鉄魚津駅） （主）富山魚津線、（主）魚津生地入善線、（主）金山谷田方町線、 （主）石垣魚津インター線、（一）阿弥陀堂魚津停車場線、 （一）魚津停車場線、（一）富山滑川魚津線、（一）沓掛魚津線、 （一）大海寺新本町線、（都）魚津中央線
市庁舎等	市役所、県総合庁舎、魚津合同庁舎、魚津警察署
学校教育施設	道下保育園、大町幼稚園、 よつば小学校、 魚津東部中学校、魚津西部中学校、 県立魚津高等学校
社会教育・文化施設	市立図書館、 本江公民館、村木公民館、道下公民館
街並み	柿の木割り飲食店街、 中央通り商店街、文化町通り商店街、新宿通り商店街、 銀座通り商店街

2. 主な自然的資源

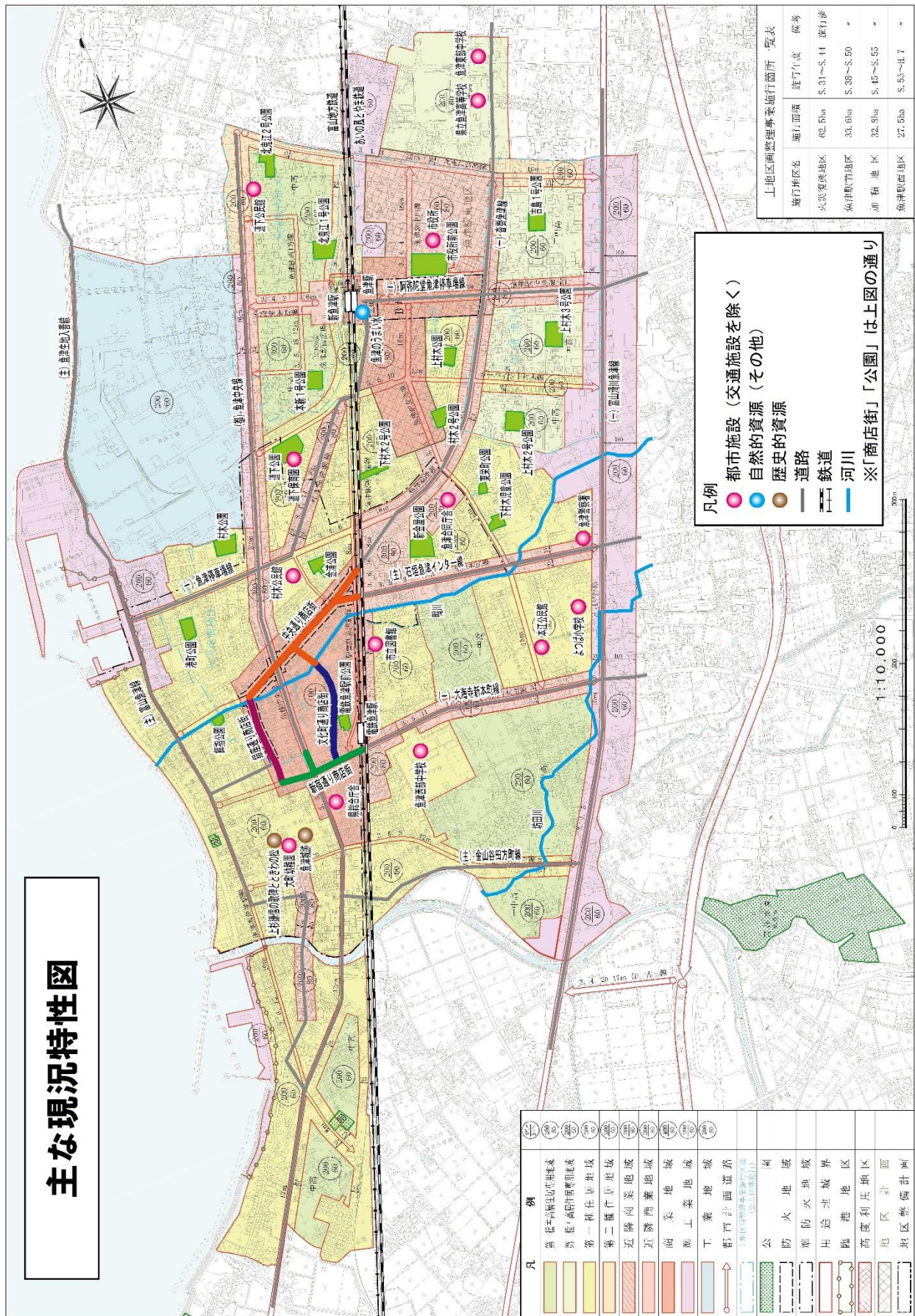
河川	<u>鴨川、坊田川</u>
公園	下村木児童公園、新金屋公園、金浦公園、港町公園、村木公園、 道下公園、市役所前公園、上村木公園、村木2号公園、 下村木2号公園、本新1号公園、北鬼江1号公園、北鬼江2号公園、 東栄町公園、上村木2号公園、上村木3号公園、吉島1号公園、 電鉄魚津駅前公園、餌指公園
その他	魚津のうまい水、魚、 <u>眺望（山方向、海方向）</u>

3. 主な歴史的資源

文化財	<u>魚津城跡</u>
その他	<u>上杉謙信の歌碑とときわの松</u>

※表中の**太文字**は、景観的資源としても捉えることができる地域資源です。

主な現況特性図



2-2. 上位・関連計画の整理

対象範囲におけるこれまでの行政の取り組みについて、関連性の高い上位・関連計画の概要を整理します。

1. 魚津市都市計画マスタープラン（平成 29 年 8 月策定）

魚津都市計画マスタープランにおいて、空間デザイン指針の対象範囲は高次都市機能コアゾーンに指定されており、都市の将来像について以下のように記載されています。

【高次都市機能コアゾーン】

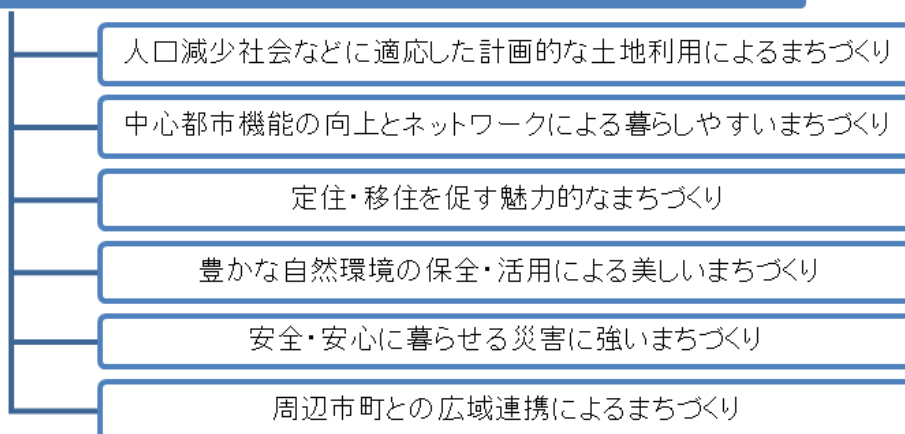
現在、用途地域が指定されている地域及びその周辺を“高次都市機能コアゾーン”として位置づけます。当ゾーンでは、中心市街地における定住・移住を促進するため、都市機能を集約するとともに、低未利用地の有効活用、空き家・空き地の利活用などの計画的な土地利用を図ります。

また、良好な都市景観の形成、魅力ある商業・業務施設の集積による賑わいのある空間を創出するとともに、魚津港周辺や中心市街地に点在する観光機能の充実・連携、歴史・文化施設、都市公園等の整備を推進しながら、本市の顔となる拠点の形成を図ります。

一方、密集住宅地の解消などによる災害に強いまちづくりを推進するとともに、魅力的な雇用の場の充実と既存工業・業務施設の緑化や集約化等による周辺住環境の改善や住工混在の緩和に努めます。

【都市の将来像と基本方針】

人が輝き、笑顔の絆がつなぐ躍動都市”魚津”



2. 魚津市立地適正化計画（令和2年3月策定）

【まちづくりの方針】

中心市街地を活性化し、生活・交通の利便性を高く確保し、
未来を担う若者たちにつなげる魅力的なまちづくり

【都市機能誘導区域】

医療・福祉・商業等の都市機能の集約、これらの各種サービスの効率的な提供を図る「都市機能誘導区域内」では、3つのゾーンに分けて、それぞれに特色を持った誘導を図っていきます。

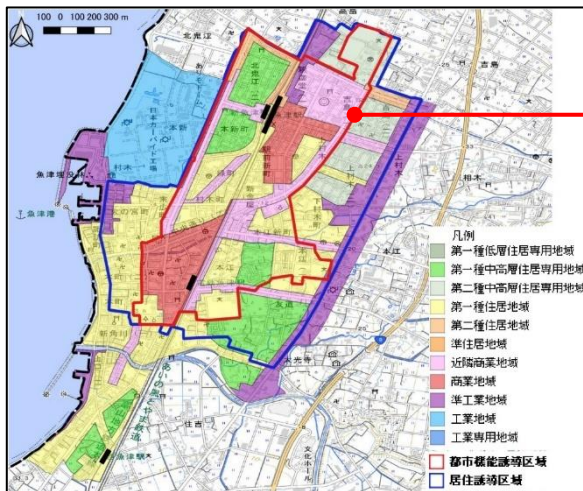


図 都市機能誘導区域・居住誘導区域

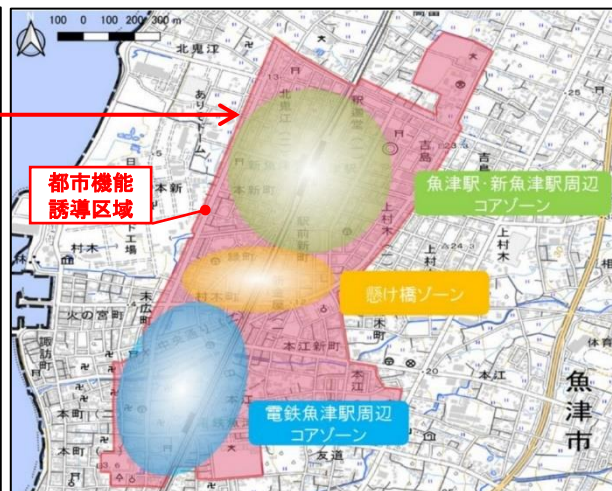


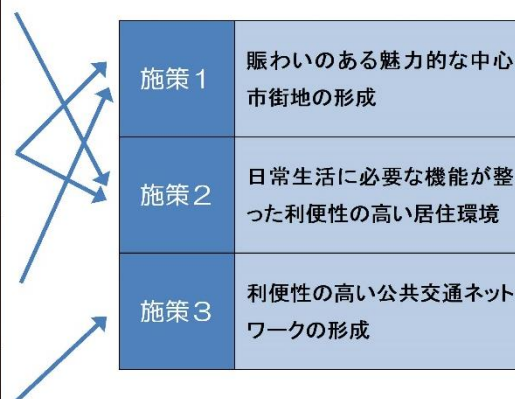
図 都市機能誘導区域内各ゾーン

【誘導施策】

・基本的な考え方

本計画では、長期的な視点で緩やかに都市機能及び居住の維持・誘導を図るため、まちづくりの方針に基づき、魅力的なまちづくりを図ることから、下記の視点で一体的に施策・事業を展開します。

方針1（人口動向）
魚津駅・新魚津駅周辺及び電鉄魚津駅周辺を中心とする市街地において、日常生活に必要な生活サービス機能を持続的に確保できるように、中心市街地での人口密度の維持を目指します。
方針2（土地利用）
災害や歩行者等に対する安全性を考慮した住環境の形成を図るとともに、子育て世代の移住・定住や市民が安心して暮らせる生活利便性の高い住環境の維持・向上を目指します。
方針3（地域経済）
魚津駅・新魚津駅周辺及び電鉄魚津駅周辺は、本市の経済の中心であり、賑わいの再生を図り、魅力を高めることで、より利便性の高い日常生活を維持し、安定した財政収入を目指します。
方針4（交通利便性）
少子高齢化の中、公共交通が持続し、市民の自由な移動が確保できるよう、持続可能性を高める公共交通ネットワークを目指します。



- ・ **具体的な施策** ※本指針に関連性の高い施策を抜粋

施策1 賑わいのある魅力的な中心市街地の形成

日常生活に必要な生活サービス機能が整った魚津駅・新魚津駅周辺及び電鉄魚津駅周辺を中心とする市街地において、賑わいのある魅力的なまちづくりを両駅周辺と連携しながら形成します。また、民間活力を活用したまちづくりも視野に入れながら進めます。

【魚津駅・新魚津駅周辺】

具体的な事業については、令和元年度に策定予定の「魚津駅・新魚津駅周辺まちづくり基本構想」を基に進めます。この基本構想は、平成29年度

(2017年度)に協議会を設立し、これからの人口減少、少子高齢化社会に対応するため、賑わいと活力あるまちの将来像と新しい魚津駅・新魚津駅周辺の姿を描き、駅を中心としたまちづくりを推進するために、賑わいを生むための施策を打ち出すこととしています。

【電鉄魚津駅周辺】

具体的な事業については、「魚津駅・新魚津駅周辺まちづくり基本構想」と商店街振興組合魚津中央通り名店街が策定した「商店街再生調査・研究事業(平成29年(2017年)2月策定)」と連携しながら進めます。この研究事業は、商店街がもつ課題である、防火建築帯内の建物・設備等の老朽化や内部の沈滞と高齢化・後継者不足を解決すべく、魅力的で集い憩える安全で安心ができる商店街づくりを目指して施策を打ち出しているものです。

① 中心市街地の賑わい創出

ア) 魚津駅・新魚津駅周辺コアゾーン

駅前とまちなかの賑わい創出を目指した新たなコミュニティの充実化

イ) 電鉄魚津駅周辺コアゾーン

商店街のポテンシャルを活かした元気なまちなか再生化

ウ) 懸け橋ゾーン

点から線へつなぐ回遊性の創出

- ② 新分野産業や新規創業の支援を推進
- ③ 低未利用土地の有効活用と適正管理
- ④ 都市公園ストック再編事業
- ⑤ 誘導施設の整備促進

3. 魚津駅・新魚津駅周辺まちづくり基本構想（令和2年3月策定）

【都市の将来像】

賑わいのある魅力的な中心市街地

○ まちのイメージ

- ・多くの人が訪れるまち
- ・回遊性のあるまち
- ・買い物や食事が楽しめるまち
- ・キレイで明るい印象のまち

交通機能が充実した、人が集まる歩行者に優しいまち

○ まちのイメージ

- ・どの交通手段でも訪れやすいまち
- ・安心安全で歩きやすいまち
- ・憩いの場などで様々な世代が交流できるまち
- ・東西が一体化したまち
- ・放置自転車、違法駐車がないまち

各世代が住みたい・住み続けたいまち

○ まちのイメージ

- ・良好な住環境なまち
- ・各世代が安心して暮らせるまち
- ・市民サービスが身近に受けられるまち
- ・災害、犯罪などに強いまち
- ・憩いを感じられるまち

【魚津駅・新魚津駅周辺の都市軸・ゾーニング・エリア拠点】

〔都市軸〕

○ 景観をみせたい方向（海・山への眺望）

駅空間は、まちの顔・玄関口であり、東口からは山への眺望を望むことができます。さらに西口からは海も近く、海への眺望も創出できる可能性があります。「景観をみせたい方向」は、山から海へと続くコンパクトな魚津の地形（地域資源）が生み出す固有の都市軸として位置づけることができます。

○ 商業交流軸

観光案内所及び飲食店街をはじめとする商業施設や機能をつなぎ、商業交流や賑わいの活性化を図る都市軸として位置づけます。

○ まちなか交流軸

主要な公共公益施設や生活拠点を結ぶ都市軸として位置づけます。

○ 歩行者空間軸

地域のウォーキング、観光客・来訪者の観光や街あるきなど、歩行者優先の道路空間に再編し、花が彩るオープンカフェや木陰のフリーマーケットなど、楽しく賑わいある広場のような歩行者空間軸として位置づけます。

〔ゾーニング〕

○ まちの拠点となるエリア

魚津市の玄関口として、魚津駅、新魚津駅や両駅広場を中心とした周辺を設定します。

○ まちなか居住エリア

各エリアに隣接し、まちなかでの生活に便利なエリアとして、市役所及び公園を中心とした周辺を設定します。

○ 飲食交流エリア

魚津駅の南側に広がる飲食店街（柿の木割り）や商業施設を中心とした周辺を、多くの人が集まる場所として設定します。

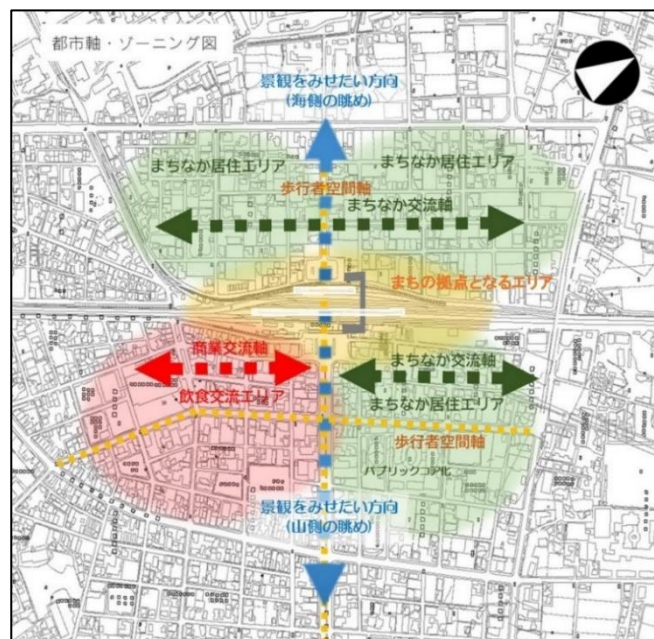


図 都市軸・ゾーニング図

〔エリア拠点〕

○ 交通結節点

- ・魚津駅、新魚津駅と各地域とのネットワークで結ぶ交通機関の乗り換え、乗り継ぎの拠点

○ 滞留拠点

- ・両駅広場を中心としてイベントなどが開催できるスペースや来訪者などが休憩などで長く滞在できるための拠点

○ 憩いの場拠点

- ・周辺住民が集い、交流などにより人々がつながるための拠点

○ 快適・賑わい歩道空間

- ・駅周辺エリアの回遊や隣接エリアにも足を延ばすきっかけを促し、歩きたくなる空間

○ 歩行者優先回遊空間

- ・歩行者が安心、安全に回遊でき、にぎわい創出につなげる空間

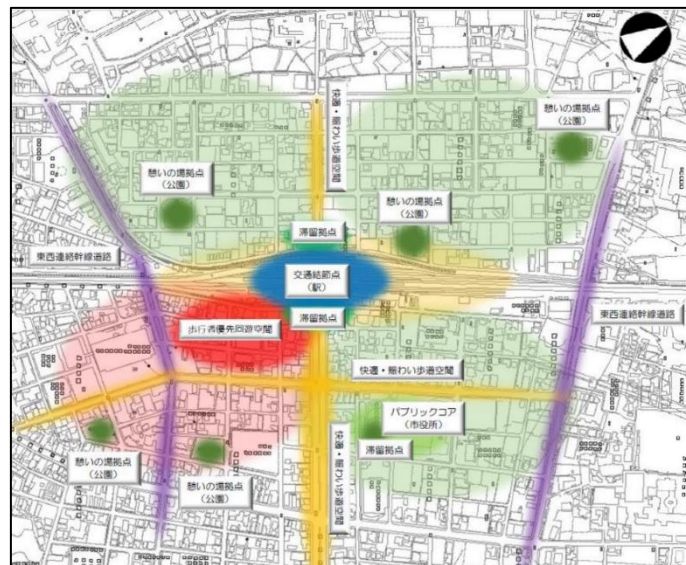


図 各拠点位置図

2-3. 空間デザインのテーマ

魚津市立地適正化計画が目指すコンパクトシティ・プラス・ネットワークを基本とした持続可能なまちづくりの実現、中心市街地における賑わいのある魅力的なまちづくりを実現するため、空間デザインのテーマを魚津市立地適正化計画のまちづくり方針より以下の通り設定します。

**中心市街地を活性化し、生活・交通の利便性を高く確保し、
未来を担う若者たちにつなげる魅力的なまちづくり**

上記のテーマを踏まえ、人口構造が若返り、本市が躍動するために、「未来を担う若者たちに繋げるまちづくり」を方針とし、日常生活において「生活・交通の利便性が高いと感ずることが出来るまちづくり」を目指します。



魚津駅前からの眺め



柿の木割り



伏見稲荷 魚津大社



鴨川

2-4. 空間デザインの基本方針

「魚津駅・新魚津駅周辺まちづくり基本構想」の都市の将来像を踏まえ、空間デザインのテーマの達成を目指し、以下の5つの基本方針を設定します。

① 魚津市の玄関口として相応しい駅・駅周辺の形成

- ❖ 魚津駅・新魚津駅周辺、電鉄魚津駅周辺において、市民や来訪者の多様な交流を創出する都市空間を形成します。

② 回遊性のあるまちの形成

- ❖ 地域の主要な場所をつなぐ安全・安心、快適な歩行空間を創出し、歩きたくなる都市空間を形成します。

③ 明るく開放的な交流空間の形成

- ❖ 飲食店街・商店街、公園など、地域の都市機能を活かし、多くの人を訪れる都市空間を形成します。

④ 魚津市を印象づける景観の形成

- ❖ 地域全体やエリアごとの景観特性に応じたデザインの統一性を図り、誰もが美しいと感じる都市空間を形成します。
- ❖ 地域から魚津市固有の自然景観（山、海など）を眺望できる都市空間を形成します。

⑤ 利便性の高い住環境の形成

- ❖ 市役所、学校教育施設、商業施設など、生活に必要な都市機能が身近に存在する利便性を感じながら、快適に暮らせる都市空間を形成します。

2-5. 空間を構成するエリア

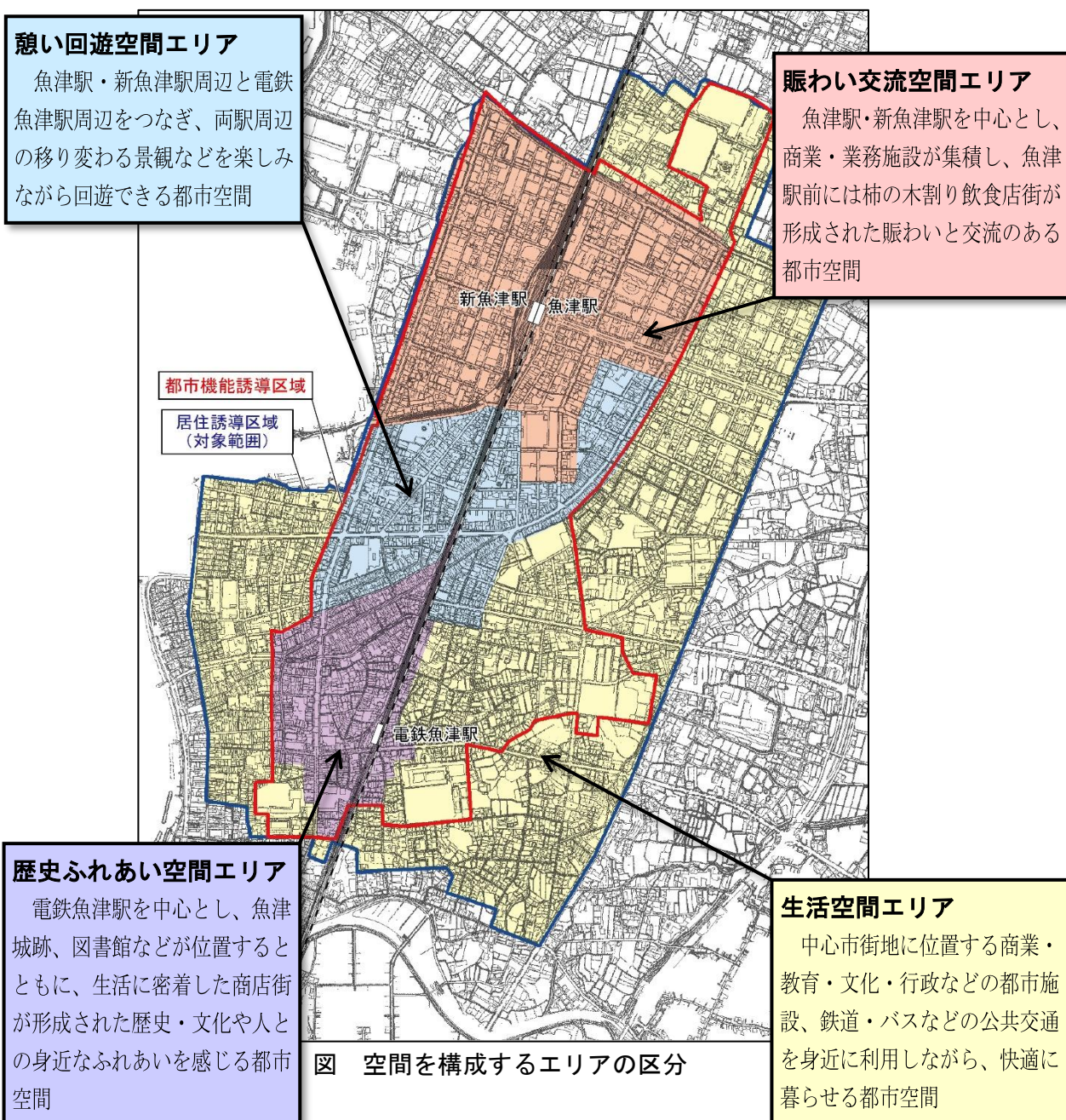
現況の特性、上位・関連計画を踏まえ、対象範囲となる居住誘導区域内を以下の通りエリア区分します。

賑わい交流空間エリア … 魚津駅、新魚津駅周辺コアゾーン

歴史ふれあい空間エリア … 電鉄魚津駅周辺コアゾーン

憩い回遊空間エリア … 賑わい交流空間エリアと歴史ふれあい空間エリアの懸け橋ゾーン

生活空間エリア … 上記のエリア以外のその他の居住空間ゾーン



第3章

空間デザイン指針

3-1. 空間を構成するエリアの概要

空間を構成する4つのエリアについて、各エリアで大切にすべき構成要素を以下に示します。

1. 賑わい交流空間エリア … 魚津駅、新魚津駅周辺コアゾーン

交通施設	あいの風とやま鉄道（魚津駅）、富山地方鉄道（新魚津駅） （一）阿弥陀堂魚津停車場線、（一）魚津停車場線、（一）沓掛魚津線、 （都）魚津中央線
市庁舎等	市役所
社会教育・文化施設	道下公民館
街並み	柿の木割り飲食店街
公園	市役所前公園、村木2号公園、本新1号公園、北鬼江1号公園、 北鬼江2号公園
その他	魚津のおいしい魚・水、眺望（山方向、海方向）、神社・仏閣、 ミラージュ

2. 歴史ふれあい空間エリア … 電鉄魚津駅周辺コアゾーン

交通施設	富山地方鉄道（電鉄魚津駅） （主）石垣魚津インター線、（一）沓掛魚津線、（一）大海寺新本町線、 （都）魚津中央線
市庁舎等	県総合庁舎
社会教育・文化施設	市立図書館
街並み	中央通り商店街、文化町通り商店街、新宿通り商店街、 銀座通り商店街、昔ながらの佇まいが残る路地
河川	鴨川
公園	電鉄魚津駅前公園
その他	眺望（山方向、海方向）、神社・仏閣、祭り

3. 憩い回遊空間エリア

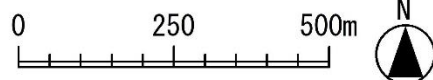
… 賑わい交流空間エリアと歴史ふれあい空間エリアの懸け橋ゾーン

交通施設	(一) 魚津停車場線、(一) 杓掛魚津線、(都) 魚津中央線
学校教育施設	道下保育園
社会教育・文化施設	村木公民館
街並み	柿の木割り飲食店街
河川	鴨川
公園	金浦公園、道下公園、上村木公園、村木2号公園、下村木2号公園
その他	眺望(山方向、海方向)

4. 生活空間エリア … 1～3のエリア以外のその他の居住空間ゾーン

交通施設	(主) 富山魚津線、(主) 魚津生地入善線、(主) 金山谷田方町線、 (主) 石垣魚津インター線、(一) 阿弥陀堂魚津停車場線、 (一) 魚津停車場線、(一) 富山滑川魚津線、(一) 杓掛魚津線、 (一) 大海寺新本町線、(都) 魚津中央線
市庁舎等	魚津合同庁舎、魚津警察署
学校教育施設	大町幼稚園、 よつば小学校、 魚津東部中学校、魚津西部中学校、 県立魚津高等学校
社会教育・文化施設	市立図書館、本江公民館
街並み	柿の木割り飲食店街
河川	鴨川、坊田川
公園	下村木児童公園、新金屋公園、港町公園、村木公園、東栄町公園、 上村木2号公園、上村木3号公園、吉島1号公園、餌指公園
文化財	魚津城跡
その他	眺望(山方向、海方向)、上杉謙信の歌碑とときわの松、加積りんご

主な現況特性・エリア図



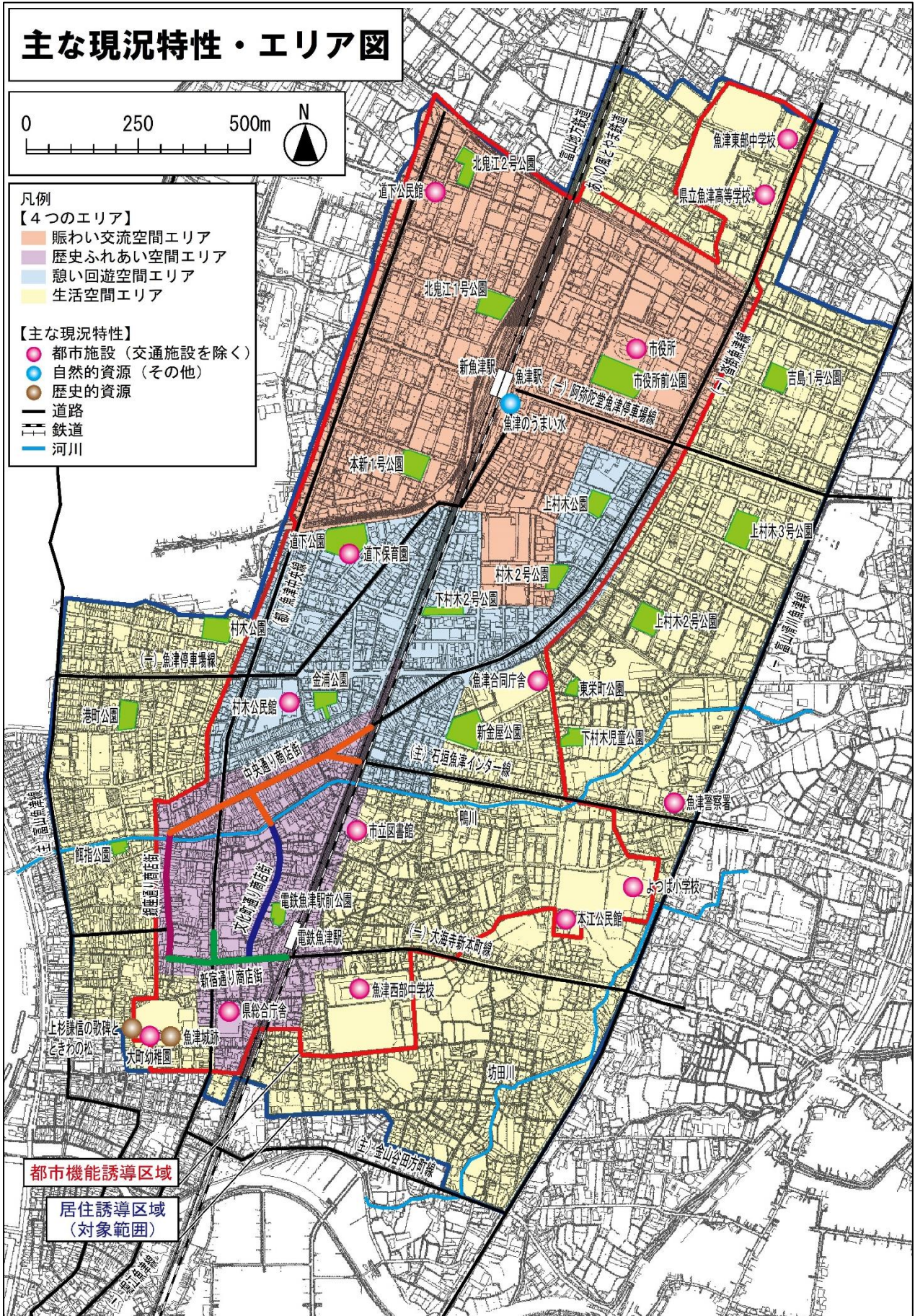
凡例

【4つのエリア】

- 賑わい交流空間エリア
- 歴史ふれあい空間エリア
- 憩い回遊空間エリア
- 生活空間エリア

【主な現況特性】

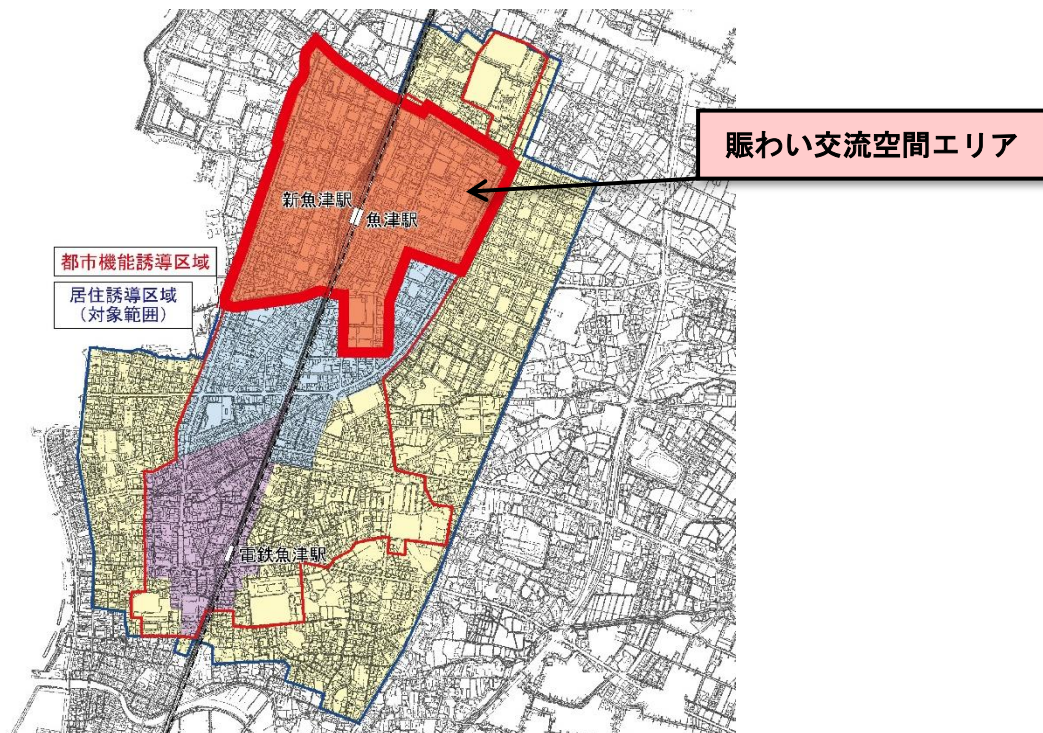
- 都市施設（交通施設を除く）
- 自然的資源（その他）
- 歴史的資源
- 道路
- 鉄道
- 河川



都市機能誘導区域

居住誘導区域
(対象範囲)

3-2. 賑わい交流空間エリアの指針



1. コンセプト

“魅力的で賑わいのあふれるまちの顔”

本エリアは、都市施設や飲食店などが集積するとともに、鉄道やバスなどの公共交通が集中・連絡したアクセスしやすい利点を活かし、市内外の多くの人々が行き交い、誰もが魅力を感じる賑わいのあふれる空間づくりを目指します。



駅東広場



市役所

2. 空間の考え方

つくる

■ 統一性や連続性をつくる

- 「魚津駅・新魚津駅周辺まちづくり基本構想」で示されたゾーンごとの統一性のあるデザイン、各ゾーンをつなぐ連続性のある歩行空間を創出します。
- 鉄道・駅の東西をつなぐ、安全・安心で連続性のある空間を創出します。

■ 賑わいをつくる

- 駅前広場や公園、お店・飲食店など、多くの人々が集い、賑わうことができる“たまり場”となる空間を創出します。
- 「柿の木割り飲食店街」や駅周辺において、街路灯の再整備や無電柱化、エリアに相応しいオブジェ設置の検討などにより、人々が魅力を感じるデザイン性の高い空間を創出します。
- 魚津駅・新魚津駅周辺に訪れ集まりやすい空間を創出します。

まもる

■ 眺望景観をまもる

- 魚津駅・新魚津駅周辺などから眺める山方向、海方向の眺望景観を保全します。

■ エリアの資源をまもる

- エリアの資源であり、魚津の食文化を伝える「柿の木割り飲食店街」を保全します。
- 市民などに親しみのある「公園」、「神社」などの公共公益施設を保全します。

そだてる

■ エリアの資源をそだてる

- エリアの資源である「魚津駅・新魚津駅」、「市役所」、「公園」などを空間のランドマークなどとして活用します。

■ エリアの魅力やファンをそだてる

- 女性などが訪れやすい洗練されたデザイン空間に改善していきます。
- 歩行者だけでなく、自転車利用者などでも楽しみながら散策できる空間に改善していきます。
- おいしい水や食、キャラクターなど、エリアの魅力を伝える観光情報の発信を積極的に行います。

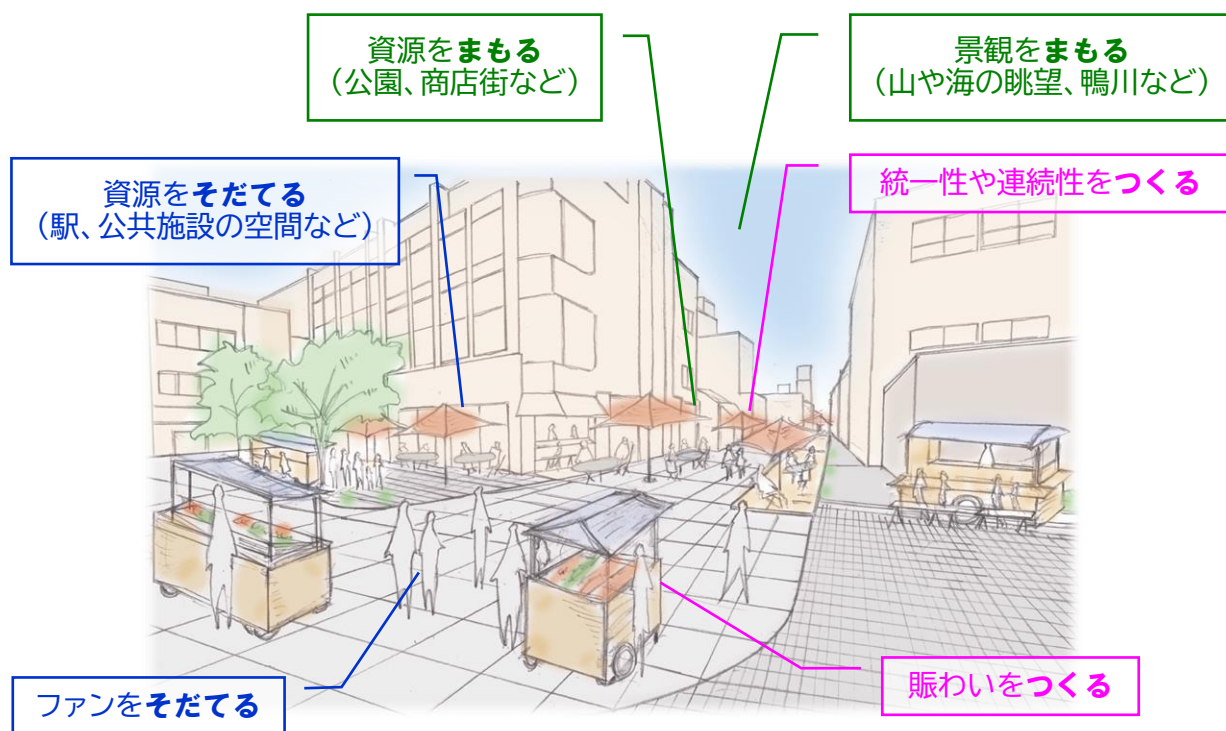
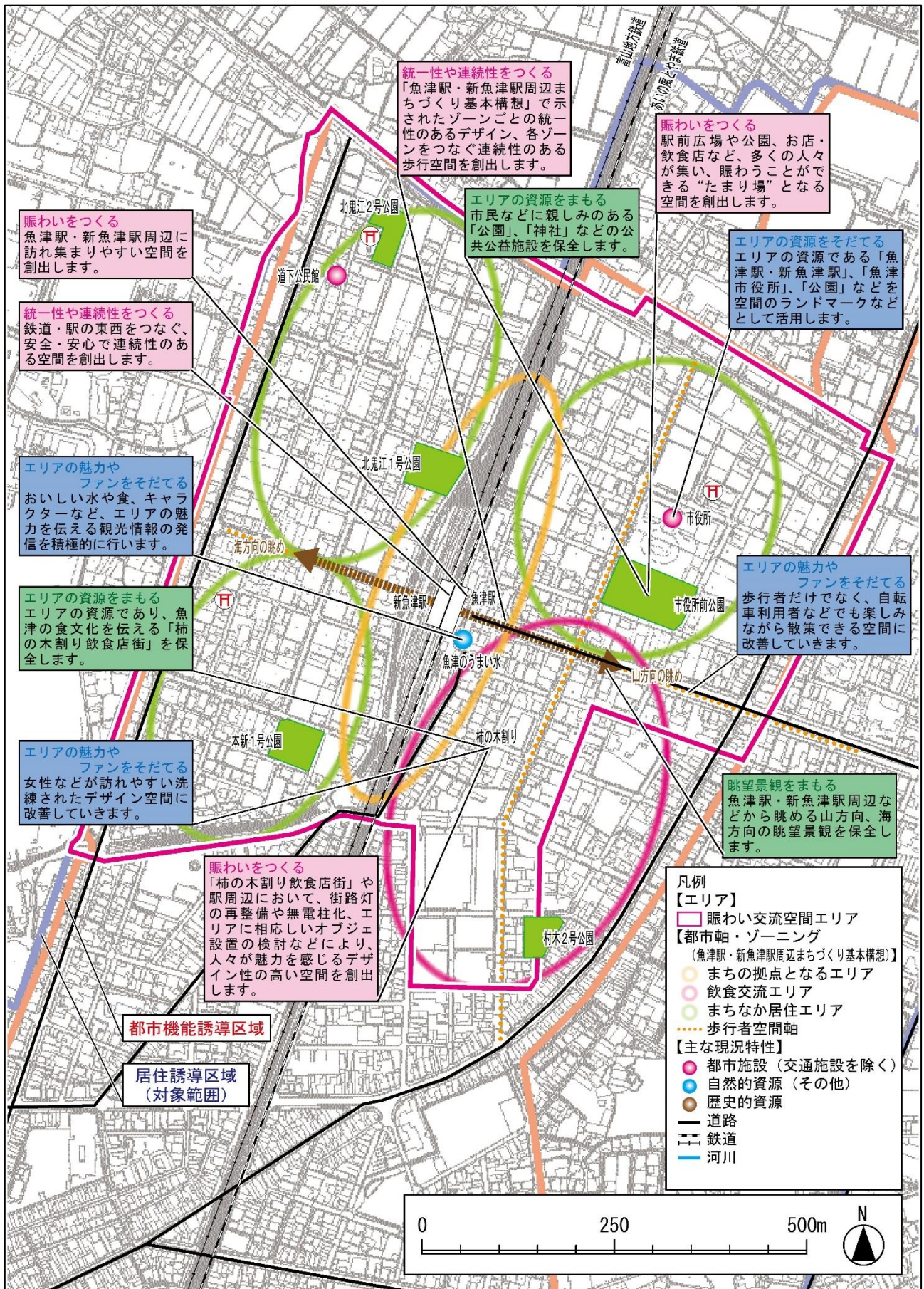
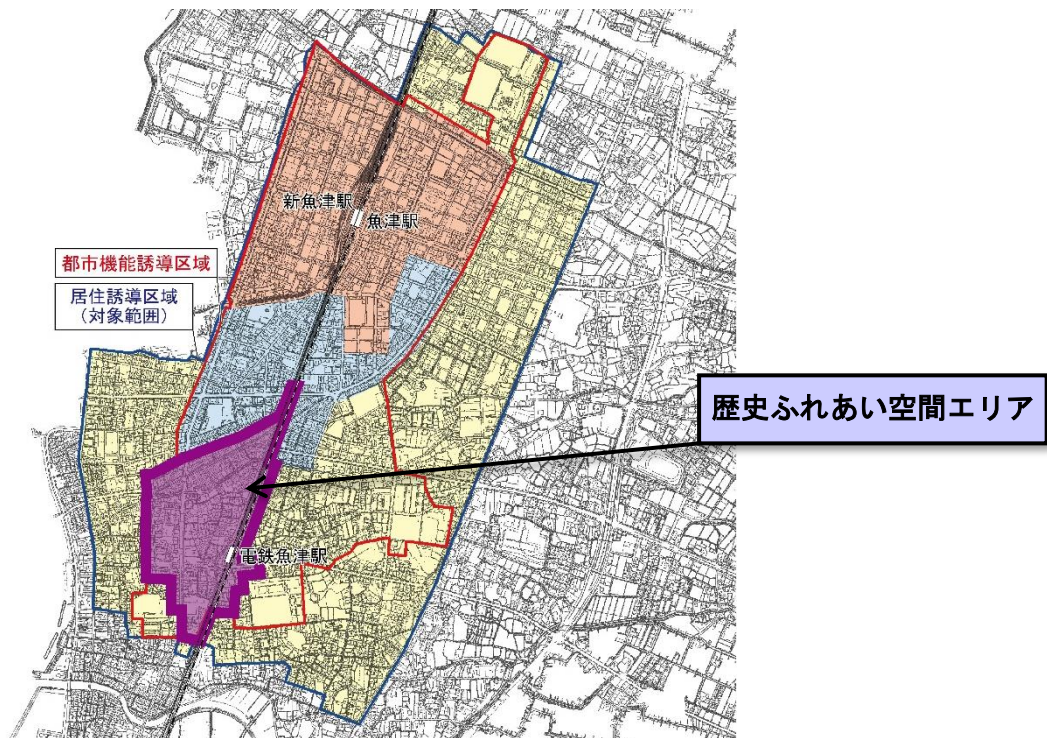


図 つくる まもる そだてる イメージ図

【空間の考え方 概要図】



3-3. 歴史ふれあい空間エリアの指針



1. コンセプト

“懐かしさを感じ、気持ち安らぐまちの顔”

本エリアは、地域に密着した懐かしさを感じる商店街や路地が集積するとともに、寺社や祭りなどの歴史・文化を活かし、子どもから高齢者まで多様な世代の人々が触れ合い、気持ちが安らぐ空間づくりを目指します。



中央通り名店街



文化町通り名店街

2. 空間の考え方

つくる

■ 統一性や連続性をつくる

- エリアや商店街ごとの統一性のあるデザイン、それぞれの商店街を回遊しながら楽しめる連続性のある歩行空間を創出します。
- 親しみや気持ち安らぐエリアとしてのデザイン性に優れた快適に暮らせる住空間を創出します。

■ 賑わいをつくる

- 多様な世代が交流しながら、賑わうことができるように、商店街の空き店舗や空き地、公園・広場などを利活用した街並み空間を創出します。
- エリアの賑わいを演出するストリートファニチャーやモニュメント設置の検討などにより、人々が懐かしさを感じながら楽しめるデザイン性の高い空間を創出します。

まもる

■ 歴史・文化をまもる

- 歴史のある寺社や祭り、路地などと調和した街並みを保全します。

■ 水辺空間をまもる

- 周辺の街並みと調和した鴨川の水辺空間を保全します。

そだてる

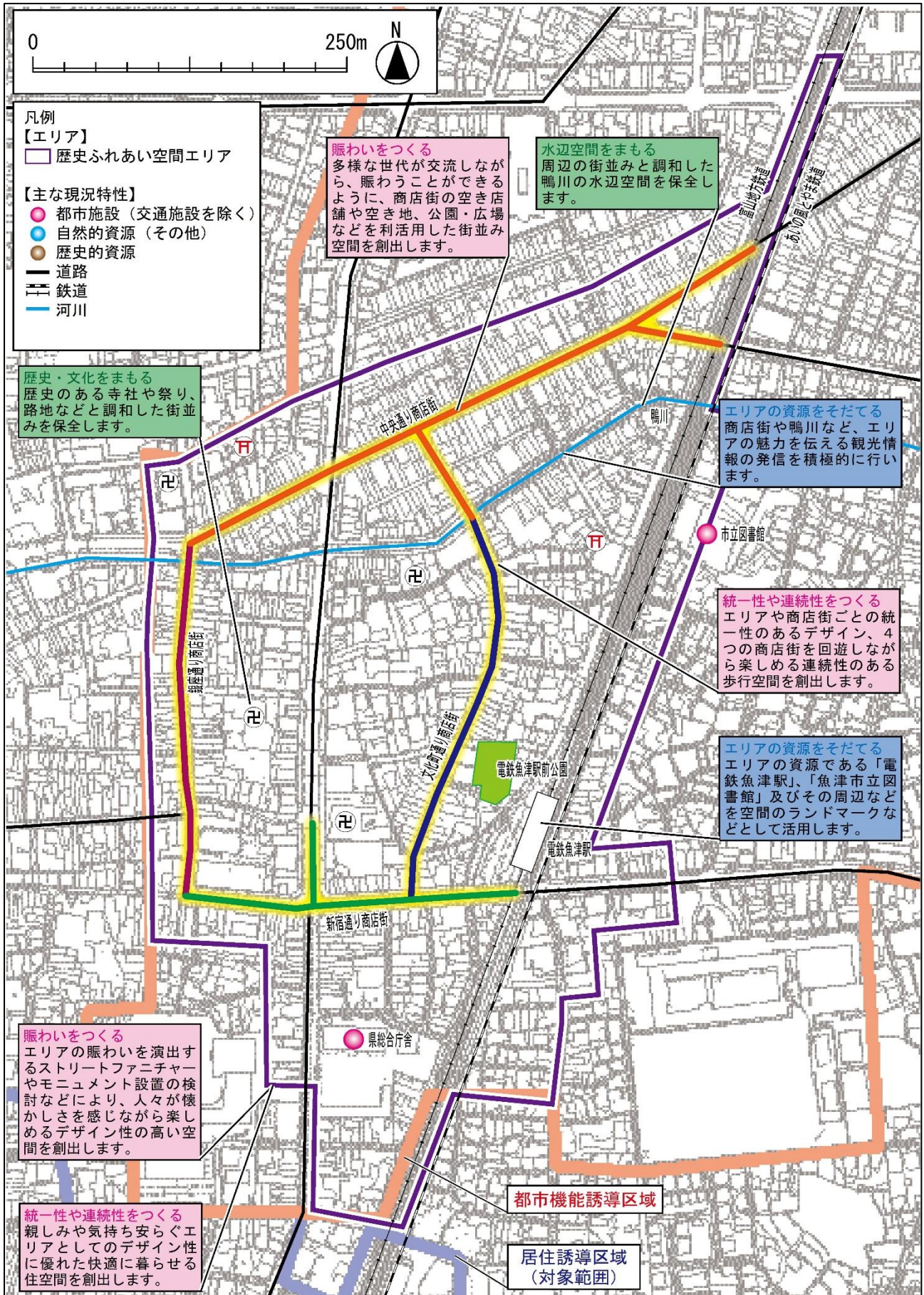
■ エリアの資源をそだてる

- エリアの資源である「電鉄魚津駅」、「市立図書館」及びその周辺などを空間のランドマークなどとして活用します。

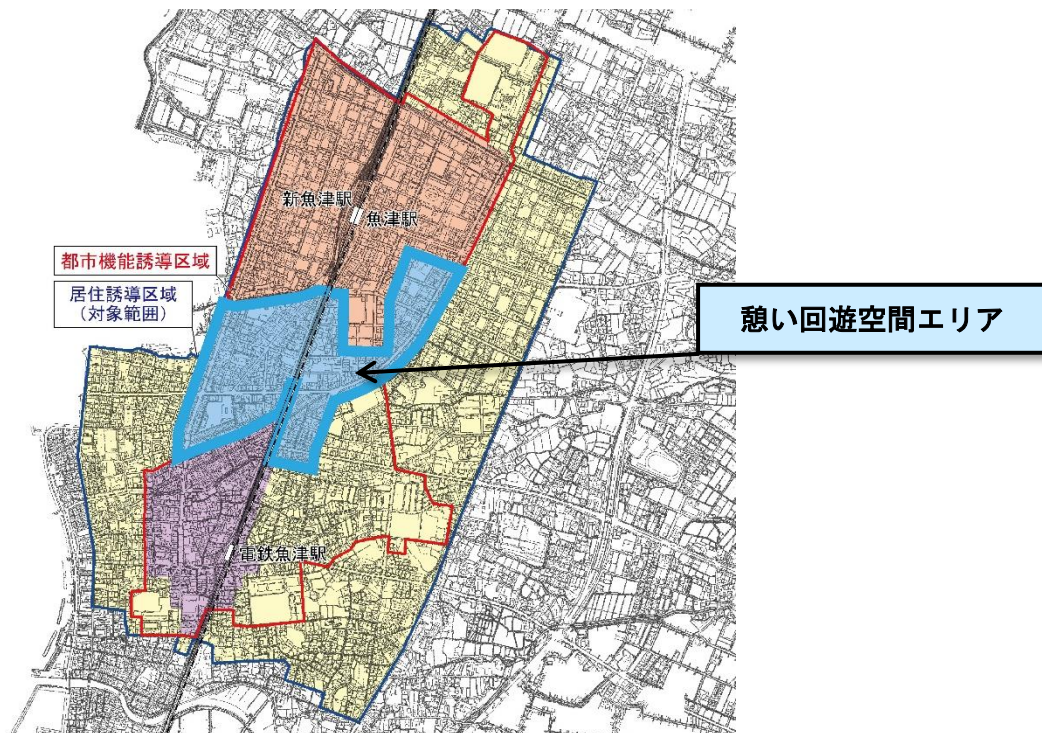
■ エリアの魅力やファンをそだてる

- 商店街や鴨川など、エリアの魅力を伝える観光情報の発信を積極的に行います。

【空間の考え方 概要図】



3-4. 憩い回遊空間エリアの指針



1. コンセプト

**まちの顔となる駅周辺の拠点間をつなぎ、
変化と調和を楽しむ**

本エリアは、まちの顔となる魚津駅・新魚津駅周辺と電鉄魚津駅周辺の拠点間をつなぎ、2つの拠点間を回遊しながら、それぞれの拠点の変化と調和を楽しむ空間づくりを目指します。

2. 空間の考え方

つくる

■ 回遊性をつくる

- 2つの拠点間を歩きながら回遊しても、また、拠点間を移動するバスの車窓からも楽しめるように、道路沿道における連続性のある街並みや歩行空間を創出します。

■ 空間の変化と調和をつくる

- 2つの拠点と隣接したエリアとして、商業地から住宅地などの街並みの変化と調和を楽しめる空間を創出します。

まもる

■ 水辺空間をまもる

- 周辺の街並みと調和した鴨川の水辺空間を保全します。

そだてる

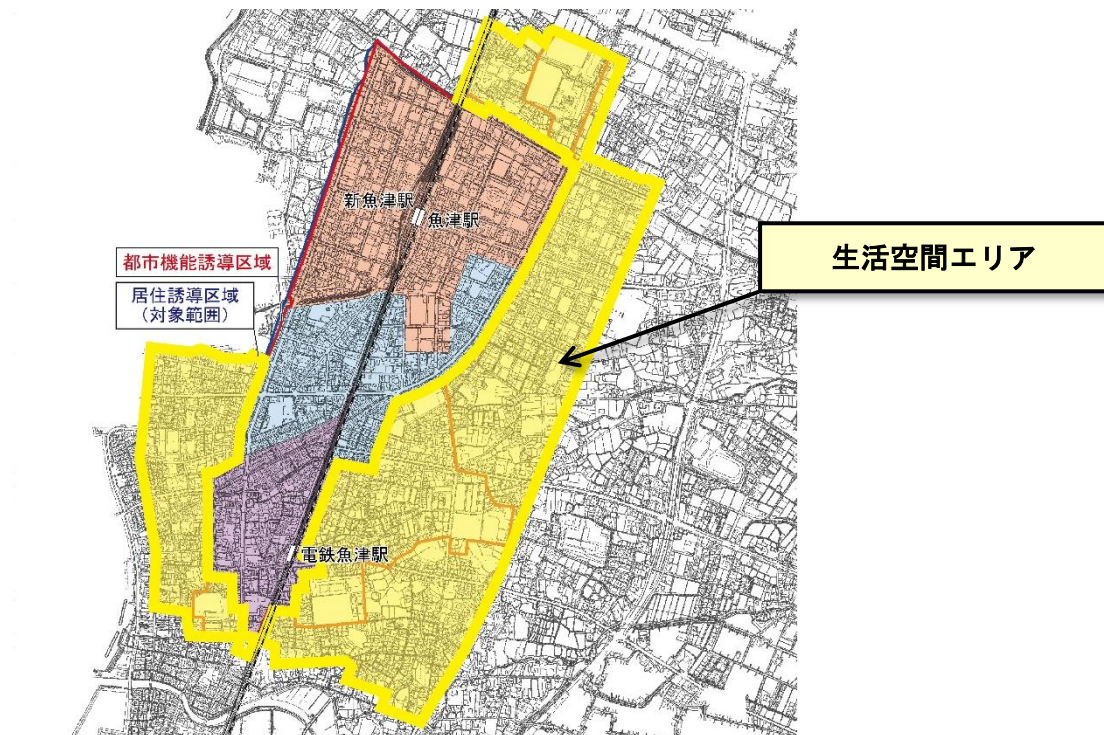
■ エリアの資源をそだてる

- エリアの資源である「村木公民館」などを空間のランドマークとして活用します。



村木公民館

3-5. 生活空間エリアの指針



1. コンセプト

コンパクトなまちの中で、便利で快適な生活を体感

本エリアは、魚津駅・新魚津駅及び電鉄魚津駅を中心として広がる、商業、教育、文化、行政などの都市施設、鉄道やバスなどの公共交通を身近に利用しながら、便利で快適な生活を体感できる空間づくりを目指します。

2. 空間の考え方

まもる

■ 快適な暮らし（住まい）をまもる

- 市民が快適に暮らし続けることができるように、住宅地などの環境や景観を保全します。

■ 安全で安心な空間をまもる

- 市民などが安全で安心に利用できるように、道路や公園などの公共空間を保全します。

■ 公共交通をまもる

- 鉄道・バス等の公共交通を市民の移動手段としてより身近に利用できるように、道路空間や利便性を保全します。

■ 歴史・文化をまもる

- 歴史のある寺社や祭りなどと調和した街並みを保全します。

■ 水辺空間をまもる

- 周辺の街並みと調和した鴨川や坊田川の水辺空間を保全します。

そだてる

■ エリアの資源をそだてる

- エリアの資源である「よつば小学校」などの学校教育施設などを空間のランドマークとして活用します。



よつば小学校



富山県 魚津市

魚津市空間デザイン指針

令和4年（2022年）3月策定

発行：魚津市

魚津市釈迦堂一丁目10番1号 TEL0765-23-1026

編集：産業建設部都市計画課